

レッジョ・エミリア・アプローチ

ボーダークロッシングス展

— 行き来する、その先へ —

子どもと自然とデジタル

なら歴史芸術文化村

2025年6月12日(木) — 6月22日(日) 月曜休館

会場：なら歴史芸術文化村

主催：JIREA (Japan Institute for Reggio Emilia Alliance)

一般社団法人 ORIECC (Organization for Research on International Education and Care for Children)

共催：みりおらーれ、なら歴史芸術文化村

協賛：株式会社スマートエデュケーション／KitS

素材協力：NPO法人 和の学校

協力：東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター (CEDEP)

監修：Reggio Children



ボーダークロッシングス展 一行き来する、その先へー

奈良・なら歴史芸術文化村会場 会期:2025年6月12日(木)ー6月22日(日)(月曜休館) 開室時間:平日・休日:10時~17時(最終入場:16:30)
会場:なら歴史芸術文化村(〒632-0032 奈良県天理市杣之内町 437-3) 資料代:一般 1,000 円、学生・未就学児 無料

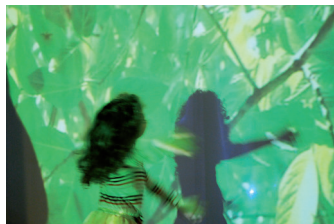
東京・九段下会場 会期:2025年1月18日(土)ー2月1日(土) 会場:イタリア文化会館1階 エキシビジョンホール
東京・南青山会場 会期:2025年2月7日(金)ー2月12日(水) 会場:ポーラ青山ビルディング地下1階 P.O.南青山ホール
石川・加賀市会場 会期:2025年3月1日(土)ー3月9日(日) 会場:加賀市山代スマートパーク 共催:加賀市
長野・軽井沢会場 会期:2025年3月18日(火)ー4月1日(火) 会場:EtonHouse International School Karuizawa 共催:EtonHouse International School Karuizawa

全体会期:2025年1月18日(土)ー2025年6月22日(日) 全体主催:JIREA (Japan Institute for Reggio Emilia Alliance) 全体協力:CEDEP (東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター)
監修:Reggio Children 巡回展情報の詳細及び最新情報はJIREAホームページ、Instagramをご確認ください。

現代の子どもたちはデジタルネイティブとも呼ばれ、生まれたときからさまざまなデジタル機器に囲まれて育ちます。一方、日本の保育・教育現場でもデジタルを活用した教育環境づくりは少しずつ広がりを見せているものの、子どもたちの“表現のツール”としてのデジタルの可能性に着目した事例は未だ少ない状況です。レッジョ・エミリアでは古くは1980年代から、当時最先端だったパーソナルコンピュータを含むデジタル機器を子どもの探究的な学びを深め、創造性を育むためツールとして日常的に取り入れた、豊かな教育環境づくりと実践が行われています。「自然とデジタル」。一見すると相容れないテーマのようにですが、自然をテクノロジーという“手段”(=人間の機能を拡張するツール)を通してリサーチすると、予期せぬ可視性、独創的な推測、まったく新しい文脈が生み出されます。デジタルとアナログ、現実と空想、過去-現在-未来(時空)、様々なBorder(境界)を伸びやかに行き来し、つながる、子どもたちの思考や創造的な学びのプロセス、そこから生まれる“デジタル詩”(子どもたちの表現、100の言葉)を、ぜひお楽しみください。

北イタリア発祥の創造的な思考を育む教育「レッジョ・エミリア・アプローチ」。1990年代にアメリカ版ニュースウィーク誌に「世界で最も先進的な幼児教育」として取り上げられたことを発端に高く評価され、近年、“子どもたちの探究的な学び”の視点からもより一層の注目を集めています。本展はこれまでにイタリア本国での展示のほか、2012年のニューヨーク近代美術館(MOMA)での公開をはじめ、世界7カ国19の都市で巡回展が開催され、日本では今回が初公開となります。

豊かな保育実践を豊富な写真・動画資料とともに紹介、現地の保育現場から生まれたワーキングノートブックの公開



レッジョ・エミリアの乳児保育園、幼児学校で、子どもたちが、デジタルをツールとして活用しながら自分たちと自然の関係性について探究した教育実践事例を、豊富な展示資料と共に紹介しています。

大人も子どもも五感を解放して、新たな問いと出会うアトリエ環境



新しいアイデアを生み出し、創造性を刺激するアナログ、デジタルツール、多様な素材との「出会いと対話」の場所としてデザインされたアトリエを再現。自然物のデジタルランドスケープからインスパイアされ、つづきを創造する“描く”空間、三次元デジタル空間の中で、実感覚とバーチャル感覚の間に生まれる新たな関係性を探索できる空間など、「自然とデジタル」をテーマに、私たちの感性にはたらかせるアトリエの環境を体験いただけます。

*写真はイタリア開催時(日本開催での実際のアトリエ環境とは異なります)

関連プログラム

ワークショップ アプリで自然を探索しよう

開催日程:6月14日(土)10:30-11:30 / 13:00-14:00
会場:なら歴史芸術文化村 セミナールームC
主催・講師:津田純佳(みりおらーれ/アトリエリスタ) 参加費:500円

ワークショップ わたし・わたしたちのボーダークロッシングス

開催日程:6月22日(日)9:30-11:30 / 13:30-15:30
会場:なら歴史芸術文化村 セミナールームC 主催:一般社団法人 ORIECC
参加費:4,000円(材料費込)

シンポジウム 表現・創造・物語り

～レッジョ・エミリアからの問いかけ
わたしたちのボーダークロッシングスを語り合う～

開催日程:6月21日(土)13:00~16:30
会場:なら歴史芸術文化村 B1ホール
主催:一般社団法人 ORIECC

*関連プログラムの詳細・お申込方法は
ORIECCホームページ(右記QRコード)よりご確認ください。

